平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月27日

上場会社名　昭和電工株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4004　URL　http://www.sdk.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 市川　秀夫
問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長　(氏名) 皆川　修　TEL 03-5470-3235

四半期報告書提出予定日　平成24年5月15日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	181,354	△6.0	9,537	2.0	8,329	5.3	5,333	107.0
23年12月期第1四半期	193,005	2.8	9,351	33.1	7,913	55.0	2,576	△26.3

(注)包括利益　24年12月期第1四半期　15,119百万円　(182.2%)　23年12月期第1四半期　5,357百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	3.56	3.49
23年12月期第1四半期	1.72	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	946,125	303,195	27.6
23年12月期	941,303	295,745	26.8

(参考) 自己資本　24年12月期第1四半期　260,833百万円　23年12月期　251,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	3.00	3.00
24年12月期	―				
24年12月期(予想)		0.00	―	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	410,000	△1.6	16,000	△27.6	13,500	△25.2	8,500	8.8	5.68
通期	880,000	3.0	48,000	1.4	42,000	5.0	23,000	35.5	15.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)
(注)詳細は、【添付資料】7ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	1,497,112,926 株	23年12月期	1,497,112,926 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	498,522 株	23年12月期	493,166 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	1,496,617,514 株	23年12月期1Q	1,496,591,383 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（１）連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（２）連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
（３）連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
（２）追加情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
（１）四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・10
（３）継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
（４）セグメント情報等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・・・・・・・・・13
（６）重要な後発事象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

１）当期の経営成績

当第１四半期（平成 24 年１月～３月）のわが国経済は、欧州政府債務危機や原油高を背景とした海外景気の下振れ懸念があったものの米国経済は緩やかに回復しつつあり、国内においては生産活動や設備投資の緩やかな改善、堅調な個人消費など緩やかな持ち直しの動きがみられました。石油化学業界においてはアジア需給の緩和の影響を受け生産調整が続きました。

このような情勢下、当社グループは中期経営計画「ペガサス」において、「付加価値創出型企業への進化」に向け、強力かつ多様な事業群をグローバル展開することにより各市場におけるリーディングポジションの確立を目指しております。

当第１四半期の連結営業成績につきましては、売上高は 1,813 億 54 百万円(前年同期比 6.0%減)、営業利益は 95 億 37 百万円（同 2.0%増)、経常利益は 83 億 29 百万円（同 5.3%増）となりました。第１四半期純利益は前年同期に計上した東日本大震災の影響による特別損失の計上がなくなったこともあり 53 億 33 百万円（同 107.0%増）となりました。

（単位：百万円）

	平成 23 年 第１四半期	平成 24 年 第１四半期	増減
売上高	193,005	181,354	△11,651
営業利益	9,351	9,537	186
経常利益	7,913	8,329	416
四半期純利益	2,576	5,333	2,757

２）セグメント別概況（平成 24 年１月～３月）

【石油化学セグメント】

当セグメントでは、第１四半期のエチレン、プロピレンの生産はアジア需給の緩和を受けた生産調整に加え、３月に発生したエチレンプラントの設備不具合もあり前年同期に比べ減少しました。

オレフィン事業は原料ナフサ価格上昇に伴い販売価格は上昇しましたが、アジア需給の緩和により販売数量が減少し減収となりました。有機化学品事業は酢酸ビニル等の販売数量減少により減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は 470 億 95 百万円（前年同期比 20.0%減）となり、営業利益は 73 百万円（同 96.5%減）となりました。

（単位：百万円）

	平成23年 第1四半期	平成24年 第1四半期	増減
売上高	58,863	47,095	△11,768
営業利益	2,075	73	△2,002

【化学品セグメント】

当セグメントでは、第１四半期の液化アンモニアの生産は前年同期に比べ増加しました。

機能性高分子事業は小幅に減収となりました。産業ガス事業は電子材料向け水素・窒素の販売数量が減少し減収となりました。基礎化学品事業は液化アンモニアや苛性ソーダは増収となり、合成ゴム「ショウプレン®」は前年同期並みの売上高となりましたが、アクリロニトリルは販売数量の減少により減収となり、総じて減収となりました。情報電子化学品事業は半導体、液晶業界の調整を受け前年同期並みの売上高となりました。

この結果、当セグメントの売上高は306億36百万円（前年同期比5.7%減）となり、営業利益は５億65百万円（同67.2%減）となりました。

（単位：百万円）

	平成23年 第1四半期	平成24年 第1四半期	増減
売上高	32,474	30,636	△1,838
営業利益	1,723	565	△1,158

【エレクトロニクスセグメント】

当セグメントでは、第１四半期のハードディスクの生産は、前期に実施した生産能力増強が寄与し前年同期に比べ増加しました。

ハードディスクは販売数量の増加により増収となりました。化合物半導体は前年同期並みの売上高となり、レアアース磁石合金は原料価格高騰に伴う販売価格の上昇により増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は414億54百万円（前年同期比56.4%増）となり、営業利益は87億37百万円（同317.6%増）となりました。

（単位：百万円）

	平成23年 第1四半期	平成24年 第1四半期	増減
売上高	26,500	41,454	14,954
営業利益	2,092	8,737	6,645

【無機セグメント】

当セグメントでは、第１四半期の黒鉛電極の生産は前年同期並みとなりました。

黒鉛電極事業は、米国は販売数量増加により増収となったものの、単体は円高もあり減収となり、総じて前年同期並みの売上高となりました。セラミックス事業は電子材料分野向けの販売数量が減少し減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は 161 億２百万円（前年同期比 18.4%減）となり、営業利益は 15 億 13 百万円（同 38.7%減）となりました。

（単位：百万円）

	平成 23 年 第 1 四半期	平成 24 年 第 1 四半期	増減
売上高	19,730	16,102	△3,628
営業利益	2,468	1,513	△955

【アルミニウムセグメント】

当セグメントでは、第１四半期のコンデンサー用高純度箔の生産は前年同期に比べ減少しました。

圧延品事業はコンデンサー用高純度箔が顧客業界の在庫調整の影響を受け減収となり、押出・機能材事業は前年同期並みの売上高となりました。熱交換器事業は自動車空調用事業を本年１月に株式会社ケーヒンへ譲渡したため減収となりました。ショウティック事業は出荷増により増収となり、アルミニウム缶は前年同期並みの売上高となりました。

この結果、当セグメントの売上高は 214 億 63 百万円（前年同期比 27.8%減）となり、２億 23 百万円の営業損失（同 18 億 53 百万円減益）となりました。

（単位：百万円）

	平成 23 年 第 1 四半期	平成 24 年 第 1 四半期	増減
売上高	29,714	21,463	△8,251
営業利益	1,629	△223	△1,853

【その他セグメント】

当セグメントでは、リチウムイオン電池材料は販売数量の減少により減収となり、昭光通商株式会社は金属事業の販売数量減少等により減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は 336 億 18 百万円（前年同期比 11.5%減）となり、営業利益は１億 76 百万円（同 75.8%減）となりました。

（単位：百万円）

	平成 23 年 第１四半期	平成 24 年 第１四半期	増減
売上高	37,973	33,618	△4,355
営業利益	727	176	△551

３）当第１四半期に実施･決定した主な事項

【石油化学セグメント】

「エチレンプラントを一時停止」

当社は、本年３月７日より定期修理中の大分コンビナートエチレンプラントにおいて、冷却工程に不具合が発生し補修が必要であることが判明したことから、生産の再開を当初予定の３月末から延期し一時停止しております。

【無機セグメント】

「中鋼集団四川炭素有限公司の持分を取得」

当社は、電炉鋼生産時の必須消耗部材として使用される黒鉛電極について、中国およびアジアにおける本事業の拡大を図るため、本年４月に中鋼集団四川炭素有限公司（中国四川省）の持分 67%を親会社である中国中鋼集団公司より取得することに合意し関連契約書に調印いたしました。今後、関係政府機関の批准を経て、同社を当社子会社とする予定です。

当社グループの黒鉛電極生産能力は、同社の年産２万２千トンを加え、既存の日本・米国拠点と合わせて年産 12 万７千トンとなります。また、平成 25 年中の米国拠点の設備増強完了により年産 15 万７千トンに拡大し、世界有数の黒鉛電極サプライヤーとしての地位を確固たるものとします。

【アルミニウムセグメント】

「高純度アルミ箔の中国生産拠点を起工」

当社は、アルミ電解コンデンサーの主要材料である高純度アルミ箔の事業強化の一環として、中国での生産拠点の新設を決定しており、本年３月に中国江蘇省南通市の建設予定地において本拠点の起工式を行いました。本拠点は堺事業所から供給する高純度箔地の最終加工までを行い、中国国内に販売する計画で、生産開始は平成 25 年後

半を予定しております。経済成長が続く中国では、家電製品から輸送機器まで幅広く使用される電解コンデンサー市場の拡大が見込まれております。当社は、現地拠点の新設等により高純度アルミ箔の需要拡大にタイムリーに対応してまいります。

「自動車空調用熱交換器事業を譲渡」

当社は、コンデンサーやエバポレーター等のアルミニウム製自動車空調用熱交換器事業について、本年１月に本事業に関する当社子会社「株式会社サーマル・テクノロジー」株式の 60%を株式会社ケーヒンに譲渡いたしました。なお、当社所有の残り 40%の株式については２年後に株式会社ケーヒンに譲渡する予定です。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期末の総資産は、自動車空調用熱交換器事業を譲渡したことに伴い有形固定資産は減少したものの、原料価格上昇に伴うたな卸資産の増加や株価の上昇による投資有価証券の増加等により前期末比 48 億 23 百万円増加し 9,461 億 25 百万円となりました。負債合計は、有利子負債は増加したものの営業債務等の減少により前期末比 26 億 27 百万円減少し 6,429 億 30 百万円となりました。当第１四半期末の純資産は、前期配当金の支払いはあったものの四半期純利益の計上や為替換算調整勘定等の増加により前期末比 74 億 49 百万円増加し 3,031 億 95 百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

本年２月９日発表の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想の前提等につきましては、本年２月９日発表の「平成 23 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照下さい。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第 24 号　平成 21 年 12 月 4 日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 24 号　平成 21 年 12 月 4 日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,187	43,366
受取手形及び売掛金	139,364	141,788
商品及び製品	52,589	52,930
仕掛品	11,059	11,997
原材料及び貯蔵品	60,067	65,443
その他	29,811	36,996
貸倒引当金	△186	△139
流動資産合計	347,890	352,381
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	84,218	83,750
機械装置及び運搬具（純額）	123,495	122,323
土地	254,851	254,633
その他（純額）	19,800	19,691
有形固定資産合計	482,363	480,397
無形固定資産		
のれん	1,441	1,006
その他	9,684	9,760
無形固定資産合計	11,125	10,765
投資その他の資産		
投資有価証券	59,570	67,395
その他	41,246	36,839
貸倒引当金	△891	△1,653
投資その他の資産合計	99,925	102,581
固定資産合計	593,413	593,744
資産合計	941,303	946,125

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年３月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	117,152	113,313
短期借入金	68,122	77,556
1年内返済予定の長期借入金	59,414	58,533
コマーシャル・ペーパー	―	6,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
引当金	3,023	6,148
その他	82,136	75,404
流動負債合計	349,846	356,955
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	179,772	174,330
退職給付引当金	24,720	24,458
その他の引当金	2,190	1,601
その他	69,029	65,587
固定負債合計	295,711	285,975
負債合計	645,557	642,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	140,564	140,564
資本剰余金	62,222	62,222
利益剰余金	48,851	48,923
自己株式	△143	△144
株主資本合計	251,494	251,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,939	△2,071
繰延ヘッジ損益	△913	△573
土地再評価差額金	28,240	28,240
為替換算調整勘定	△21,955	△16,328
その他の包括利益累計額合計	433	9,268
少数株主持分	43,819	42,362
純資産合計	295,745	303,195
負債純資産合計	941,303	946,125

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成23年１月１日 至　平成23年３月31日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日)
売上高	193,005	181,354
売上原価	162,267	152,015
売上総利益	30,738	29,339
販売費及び一般管理費	21,387	19,802
営業利益	9,351	9,537
営業外収益		
受取利息	34	44
受取配当金	174	258
持分法による投資利益	457	485
雑収入	831	1,067
営業外収益合計	1,495	1,853
営業外費用		
支払利息	1,355	1,245
雑支出	1,579	1,816
営業外費用合計	2,934	3,061
経常利益	7,913	8,329
特別利益		
事業譲渡益	50	83
受取補償金	－	145
投資先残余財産分配益	221	－
その他	179	92
特別利益合計	450	320
特別損失		
固定資産除売却損	359	313
減損損失	111	434
東日本大震災関連損失	2,601	－
その他	1,199	880
特別損失合計	4,270	1,627
税金等調整前四半期純利益	4,093	7,023
法人税等	838	1,261
少数株主損益調整前四半期純利益	3,255	5,762
少数株主利益	678	429
四半期純利益	2,576	5,333

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成23年１月１日 至　平成23年３月31日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,255	5,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△503	2,964
繰延ヘッジ損益	1,158	328
為替換算調整勘定	1,462	6,051
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	14
その他の包括利益合計	2,102	9,357
四半期包括利益	5,357	15,119
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,665	14,168
少数株主に係る四半期包括利益	693	951

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

1　報告セグメントの概要

各報告セグメントに属する主要な製品・商品等の種類は、下表の通りです。

	主要製品・商品等
石油化学	オレフィン（エチレン、プロピレン）、 有機化学品（酢酸ビニルモノマー、酢酸エチル、アリルアルコール）
化学品	機能性高分子材料（合成樹脂エマルジョン、不飽和ポリエステル樹脂、工業用フェノール樹脂）、 産業ガス（液化炭酸ガス、ドライアイス、酸素、窒素、水素）、 基礎化学品（液化アンモニア、アクリロニトリル、アミノ酸、苛性ソーダ、塩素、合成ゴム）、 情報電子化学品（エレクトロニクス向け特殊ガス・機能薬品）
エレクトロニクス	ハードディスク、化合物半導体（LED）、レアアース磁石合金
無機	黒鉛電極、セラミックス（アルミナ、研削研磨材）、ファインセラミックス
アルミニウム	コンデンサー用高純度箔、レーザービームプリンター用シリンダー、押出品、鍛造品、 熱交換器(注)、飲料用缶
その他	リチウムイオン電池材料、建材、卸売

(注)当第１四半期連結会計期間において、熱交換器事業のうち自動車空調用熱交換器の事業譲渡を行っております。

2　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第１四半期連結累計期間（自　平成23年１月１日　至　平成23年３月31日）

（単位:百万円）

	報告セグメント							調整額(注)	四半期連結損益計算書計上額
	石油化学	化学品	ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ	無機	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	その他	計		
売上高									
外部顧客に対する売上高	56,850	29,515	26,082	17,144	28,030	35,384	193,005	―	193,005
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,013	2,959	418	2,586	1,684	2,589	12,249	△12,249	―
計	58,863	32,474	26,500	19,730	29,714	37,973	205,254	△12,249	193,005
セグメント損益（営業損益）	2,075	1,723	2,092	2,468	1,629	727	10,713	△1,362	9,351

(注)セグメント損益の調整額△1,362百万円には、セグメント間取引消去49百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,411百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究開発費です。

当第１四半期連結累計期間（自 平成24年１月１日　至 平成24年３月31日）

（単位:百万円）

	報告セグメント							調整額(注)	四半期連結損益計算書計上額
	石油化学	化学品	ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ	無機	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	その他	計		
売上高									
外部顧客に対する売上高	45,818	28,199	40,999	13,956	20,409	31,973	181,354	―	181,354
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,277	2,437	455	2,146	1,054	1,645	9,014	△9,014	―
計	47,095	30,636	41,454	16,102	21,463	33,618	190,368	△9,014	181,354
セグメント損益（営業損益）	73	565	8,737	1,513	△223	176	10,839	△1,302	9,537

(注)セグメント損益の調整額△1,302百万円には、セグメント間取引消去90百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,392百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究開発費です。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失を認識しておりません。また、のれん等の金額に重要な影響を及ぼす事象は生じておりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

昭和電工株式会社

平成24年4月27日発表

平成24年12月期第１四半期決算要約（連結）

１．当第1四半期の業績

①業績概要

（単位:億円）

項　目	平成23年 第1四半期	平成24年 第1四半期	増　減
売上高	1,930	1,814	△117
営業利益	94	95	2
経常利益	79	83	4
四半期純利益	26	53	28
金融収支	△11	△9	2

〔第2四半期累計期間（1～6月）業績予想〕

（単位:億円）

平成24年 第2四半期累計 期初予想(※)
4,100
160
135
85

※期初予想は、平成24年2月9日公表ベース

（単位:億円）

項　目	平成23年 12月末	平成24年 3月末	増　減
総資産	9,413	9,461	48
有利子負債残高	3,473	3,564	91

②セグメント別　売上高・営業利益

〔第2四半期累計期間（1～6月）業績予想〕

（単位:億円）

部　門		平成23年 第1四半期	平成24年 第1四半期	増減	平成24年 第2四半期累計 期初予想
石油化学	売上高	589	471	△118	1,100
	営業利益	21	1	△20	0
化学品	売上高	325	306	△18	650
	営業利益	17	6	△12	10
エレクトロニクス	売上高	265	415	150	900
	営業利益	21	87	66	110
無機	売上高	197	161	△36	350
	営業利益	25	15	△10	40
アルミニウム	売上高	297	215	△83	500
	営業利益	16	△2	△19	20
その他	売上高	380	336	△44	800
	営業利益	7	2	△6	10
調整額	売上高	△122	△90	32	△200
	営業利益	△14	△13	1	△30
計	売上高	1,930	1,814	△117	4,100
	営業利益	94	95	2	160

２．参考数値

〔通期（1～12月）予想織込〕

項　目	平成23年 第1四半期	平成24年 第1四半期	増減	平成24年 通期 期初予想
為替レート（円／US$）	82	79	3円高	77
国産ナフサ価格（円/KL）	52,500	54,000	1,500	50,000

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績につきましては、さまざまな要素により、予想数値と大きく異なる場合があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、ナフサ等原材料価格、製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。